

②数値目標・活動指標等																																																
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標																																													
1. 地域の活性化、県内の若者人口増加のための連携事業																																																
① 地域の活性化のための県内企業就職率の向上	県内企業就職率：33.0% (平成 33 年度)	<p>(取組 1) 若者の地元定着のための就職支援事業 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者で、約 2 万人いる県内大学卒業者のうちの『県内企業就職率』は、3 割弱に過ぎず、7 割以上が県外に本社のある企業に就職している。この県内企業就職率を引き上げ、若者の県内定着を促進することで、地域の活性化を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業とキャリアセンターとの意見交換会 ・魅力ある県内中小企業訪問 ○大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・合同企業説明会 ・企業と学生との意見交換会 <p>[平成 28 年・年齢別転入・転出数 (兵庫県)]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>0～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転入</td> <td>85,933</td> <td>9,050</td> <td>5,753</td> <td>30,082</td> <td>19,314</td> <td>10,204</td> <td>5,182</td> <td>6,348</td> </tr> <tr> <td>転出</td> <td>92,693</td> <td>8,457</td> <td>5,924</td> <td>35,825</td> <td>20,268</td> <td>10,451</td> <td>5,218</td> <td>6,550</td> </tr> <tr> <td>転出超過</td> <td>6,760</td> <td>△593</td> <td>171</td> <td>5,743</td> <td>954</td> <td>247</td> <td>36</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>(H27転出超過)</td> <td>7,409</td> <td>△196</td> <td>△164</td> <td>5,518</td> <td>1,399</td> <td>574</td> <td>30</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」(平成 29 年 1 月)</p>	区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348	転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550	転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202	(H27転出超過)	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249	各取組への参加学生数：平成 29 年度実績をベースに毎年 5%増
区分	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～																																								
転入	85,933	9,050	5,753	30,082	19,314	10,204	5,182	6,348																																								
転出	92,693	8,457	5,924	35,825	20,268	10,451	5,218	6,550																																								
転出超過	6,760	△593	171	5,743	954	247	36	202																																								
(H27転出超過)	7,409	△196	△164	5,518	1,399	574	30	249																																								
② 地域の活性化のための UJI ターン就職の促進	情報公開する企業数：100 社 (平成 33 年度)	(取組 1) 県内企業の情報発信の強化 ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業情報を収集し、大学プラットフォーム (大学コンソーシアムひょうご神戸) HP において公表し、兵庫県の UJI ターンの職業紹介等の HP との連携を図る。	情報公開する企業数：100 社 (平成 33 年度)																																													
③ 大学進学者の県内残留と円滑な高大接続	合同説明会への参加生徒数：200 名 (平成 33 年度)	(取組 1) 高大連携事業 (ひょうご高校大学コンソーシアム) 兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換会 (進路指導協議会) や県内各地での合同説明会の開催などを通じて、県内大学進学率の向上を図る。	年 1 回の会合開催 県内 3 ヶ所での合同説明会開催 (平成 31 年度以降)																																													
④ 高等教育機会の偏在への対応	開講科目数：10 科目 (平成 33 年度)	(取組 1) 単位互換事業 (共通講座の開講) 県内の大学に通う全ての学生に、幅広い科目の履修機会を提供するため単位互換事業を実施する。とくに、集中講義 (キャリア形成、資格対応、含むインターンシップや企業協力の PBL 等)、 e-learning 等の教育プログラムの開発を行う。	地域別の集中講座もしくは e-learning による講座提供の仕組みの構築。																																													

2. 地域課題と向き合う交流を通じた社会人基礎力の養成事業			
⑤地域の防災等を担う人材の育成	「ひょうご災害・防災リーダー」認定学生数：100名 (平成33年度までのべ数)	<p>(取組1) 阪神・淡路大震災の経験を有する兵庫県で地域の防災等を担う人材養成プログラムを実施する。</p> <p>プラットフォーム参画大学の学生と県内外の各団体が連携し、阪神・淡路大震災の経験、教訓を学ぶ場の提供や東日本大震災や熊本地震災害での実際の支援活動に取り組み、被災地の復興支援の体験やそこから派生する防災への取り組みを学び、自主的且つ自発的に活動に取り組める学生を育成するとともに災害・防災リーダーを養成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阪神・淡路大震災について学ぶ場や県内でのボランティア研修により、実質的なボランティアを企画・実施。 ・宮城県名取市、熊本県益城町でのボランティア活動の継続により、時間経過に伴うニーズの変化や復興の過程を学ぶ。 ・震災直後やその後の復興の過程を学ぶとともに、今後の防災・減災に向けて何ができるのかを考え、実践に移せる「ひょうご災害・防災リーダー」を養成。 	プログラム参加学生数：250名 (平成33年度までのべ数)
⑥地域で活躍できる人材の育成	リーダー(企画・運営を担える人材)の育成：50名/年	<p>(取組1) 地域(子どもやその保護者等)との交流を図るイベントを企画・運営し、異世代交流の体験を通じた幅広いコミュニケーション力、前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)を、実践によって身につけさせ、地域で活躍できる人材を育成する。</p> <p>参加学生には地域の子どもの状況やその背景についても学ぶ機会を提供することにより地域における子どもの現状(少子化等)と課題を踏まえた取り組みに繋げる。</p>	参加学生数：200名/年 参加者(親子)数：1,000名/年
⑦地域産業ニーズに対応した人材育成	公開情報を閲覧もしくは資料配布を受けた学生数：10,000名 (平成33年度までのべ数)	<p>(取組1) 地域産業のニーズ調査</p> <p>ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て県内企業が求める人材、大学において習得すべき知識・技能についての情報を収集し、大学プラットフォーム(大学コンソーシアムひょうご神戸)HPにおいて公表する。</p>	協力企業数：平成33年度までに50社 HPでの情報公開：平成31年度より実施 資料作成：平成32年度に作成
⑧地域企業経営者による実践的講座の提供	講座開講数：10講座 (平成33年度までのべ数)	<p>(取組1) 地域企業経営者が講師を務める講座の開講</p> <p>ひょうご産官学連携協議会に参画している地域の産業界の協力を得て、企業経営者を講師として講座を開講する。経営者の理念や思いをお聞きし、実社会を学ぶ。e-learningシステムでの公開も検討する。</p>	講師依頼・アンケート調査実施数：平成33年度までに企業経営者100名を対象に実施

3. ひょうご神戸の国際性を活かしたグローバル教育支援事業			
<p>⑨ “ひょうご神戸” の国際性を活かしたグローバル人材育成</p>	<p>本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中に2回測定)</p>	<p>「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとして、グローバル人材育成を目指した事業を展開する。</p> <p>(取組1)留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ) 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業・団体等を決定する。</p> <p>(取組2) CCC Global Career Seminar in Japan Offered by Cross-Cultural College (平成23年度 文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採択プログラム) CCCが目指す世界市民リーダーを育成する。</p> <p>(取組3)兵庫県学生英語プレゼンテーション・コンテスト 県下大学生全体の英語学習に対する一つの目標を設定でき、モチベーションの向上を図ることができる。</p> <p>(取組4)プラットフォームを活用した留学生就職促進事業 大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することでの受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の促進の動機付けを図る。</p> <p>(取組5)兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 大学連携による国際交流の拠点を、大学キャンパス外の地域社会に形成することで留学生と日本人学生、地域の人々が学びあう多文化共生社会に向けた場を創造する。</p>	<p>参加者数:10 大学・35 名以上(最大40名)/年 受入企業・団体等数:20 企業・団体以上/年</p> <p>参加者数:平成33年度までに延べ10名</p> <p>参加校:5校以上/年 参加学生数:15名以上/年</p> <p>参加留学生:100名以上/年</p> <p>参加者数500名以上/年</p>
4. 県下大学の教育・研究の質を高める多元的研修事業			
<p>⑩ “ひょうご神戸” の特性を活かした教育力の向上</p>	<p>各取組への参加教職員数:300名 (平成33年度までのべ数)</p>	<p>プラットフォーム参画大学の教職員に多様な研修等の機会を提供するとともに加盟校教職員間のさらなる交流を促進する。</p> <p>(取組1)プラットフォーム参画大学において、公開又は情報交換等に活用が可能なFD・SDセミナーの情報を収集し、プラットフォーム参画大学に開放する。特に個別大学では十分な取組が難しい事務職員対象の研修会、もしくは加盟校教職員を対象とした大学教育に関する講演会を行い、コンソ加盟校職員の資質向上を図るとともに、職員間の交流を促進する。</p> <p>(取組2)「大学運営」に関する科目の受講支援 プラットフォーム参画大学が開講する「大学運営」に関する科目の、プラットフォーム参画大学職員の受講を支援する。</p>	<p>公開セミナー開催数:5件以上/年 情報交換等が可能なセミナー開催数:1件以上/年</p> <p>「大学運営」科目の継続開講</p>